

こんにちは
日本共産党
大分市議団
です

2011年11月5日

870-8504
大分市荷揚町2-31
市議会日本共産党控室
TEL 537-5695
FAX 537-5791
http://www.jcp-
oitasigidan.com
E-mail: occ-jcp
@oct-net.ne.jp

震災・防災対策

ライフラインの水道をどう守るか

防災拠点、医療施設への
給水ルート耐震化優先

水道はライフラインのなかで最も重要なものです。大分市水道の基幹管路の耐震化率は2010年度58・7%、管路の耐震化率は8・2%です。管路の重要性や緊急性などを考慮して耐震管の普及をすすめるように求めました。

水道局長は「既設管路のすべてを直ちに耐震化することは財政的にも極めて困難。基幹管路を中心に優先順位を定め、計画的にすすめる。管路も災害時の給水に重大な影響を受けないよう、避難所などの防災拠点、医療施設への給水ルートを

優先するなどの対策をとる」と答弁しました。

震災時の対策は

耐震管の普及には相当の期間を要します。それまでに震災が発生した時、応急措置、復旧対策に万全を期すように求めました。

水道局長は「給水車による運搬体制、応急給水体制・応急復旧体制の確立、配水系統間の相互連絡菅の整備の検討などをすすめている。県内外の水道事業者との応援協定をすすめている」などと答弁しました。また職員の統一した組織的活動を展開する「災害対策マニュアル」も作っています。

施設の耐震化を急げ

高架の配水池などは、耐震対策が十分でなければ、

倒壊などのおそれがあります。耐震対策が必要な施設も、実施予定が2015年以後という施設もあります。施設の耐震化を急いですすめるように求めました。

水道局長は「『耐震化計画』のなかで、補強工事や更新工事、統廃合など、個別の施設の耐震化手法を策定するとともに、事業の優先度を決定し対策を講じている」と答弁しました。

新日鐵に申し入れ

10月19日、大分製鐵所内で、人身事故がおきました。議員団は、「協力会社や個人の責任に転嫁することなく、新日鐵の責任で事故原因の徹底究明、再発防止」について、新日鐵大分製鐵所に申し入れました。



2012年度大分市予算へ70項目の要望書提出

10月26日、2012年度予算についての要望書を市長宛に提出しました。磯崎副市長らに対応しました。市議団は、民主党政権のもと、市民の生活を守ることを基本に、防災対策、福祉・医療・介護、子育て支援、雇用・仕事おこし、環境、教育など、約70項目について予算措置などを求めるように求めました。

ひろく
忠彦
次広
通信198

日本共産党と広次¹⁸

当時、全国20万人の組織をもつ民青同盟。一地方組織とはいえ、責任の重大さを身にしみていました。この時期、「大勢のなかの孤独」ということを言われました。集会に参加したが、自分の知り合いがいなくてという状況でした。あらためて、日ごろからお互いを知り合い、連帯する活動の重要性を考えさせられました。震災後、あらためて『絆』ということが見直されています。社会的連帯で前進をきりひらきましょう。(続)